

## 長期戦略:テーマ 「個別研究の活性化」

提出日 2019年 8月 28日

担当部署

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	長峯研究推進社会連携機構長 (研究推進社会連携機構)	実施計画の 担当部署	研究推進社会連携機構
-----------------------	-------------------------------	---------------	------------

## 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
3-(1)-⑤ 国際共同研究(研究者招聘)の支援	(2019)年度	(2021)年度	必要なし	不要
<b>内容</b>  国際共同研究を積極的に支援することによって、大学全体の国際的な研究力を高め、その成果としての共著論文・学会発表・ワークショップの開催を増加させる。その方策として、以下の観点から、学内研究支援制度「国際共同研究交通費補助制度」の再構築を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の研究者を招聘するために、研究環境(研究室・ラボ等)を整備するとともに、招聘手続や滞在中の生活をサポートする事務体制を整える。</li> <li>・申請者と海外研究者の交流だけでなく、若手研究者(45歳以下)の人脈づくりのため、交流を活発化させる仕組みを整える。</li> <li>・成果として共同研究内容を論文や学会で発表すること、ワークショップの開催を義務づける。</li> </ul>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	招聘人数	制度再構築後、年間5名の海外研究者を招聘する(2022年以降予算の範囲内で増加させる)		
指標2	成果としての国際共著論文・学会・ワークショップの数値	制度再構築後、年間3件		
指標3	SCImago Journal Rank(SJR)でトップ10%であるジャーナルに掲載された論文数	100件程度を目指す(2017年度:78件)。		

## 目標1&lt;指標1&gt; 招聘人数

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	0	0	0	5人(2022年) <以降予算の範囲内で増やす>
実績				

## 目標2&lt;指標2&gt; 成果としての国際共著論文・学会・ワークショップの数値

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	0	0	0	3件(2022年)
実績				

## 目標3&lt;指標3&gt; SCImago Journal Rank(SJR)でトップ10%であるジャーナルに掲載された論文数

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	80	85	90	95(2022年) 2023年以降100
実績				

## 2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
研究に特化した 海外研究者 招聘制度の導入	策定段階	他大学の施設や制度の 事例収集・分析、素案 検討	他部署との交渉 制度案検討	制度案承認・公募開始 (研究推進委員会等)	制度実施・改善	制度実施・改善
	2020 年 3 月 末段階	—	—	—		
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階	制度実施・改善	制度実施・改善	制度実施・改善	制度実施・改善	
	2020 年 3 月 末段階					
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	策定段階					
	2020 年 3 月 末段階					
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階					
	2020 年 3 月 末段階					

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円

(2021)年度

(2022)年度

(2023)年度

4年目以降

非公開

人員・人件費 単位:万円

(2021)年度

(2022)年度

(2023)年度

4年目以降

非公開

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	
( ) 年度	
( ) 年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	ロードマップに則り、他大学の事例等を収集・分析し、本学での取り組みの素案を検討中。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
( ) 年度	